

# 「新しい生活様式 Nantama New Normal (3N)」 Ver.3

東京都立南多摩中等教育学校

感染防止 3 原則 : ①身体的距離の確保 ②マスク着用 ③手洗い

## ＜登校前＞

- 体温測定、健康チェックを行う。
  - 結果を健康観察表へ記入し、**毎週月曜日に提出する。**
  - 発熱、又は風邪の症状あるいは味や臭いを感じにくいなどの症状がある場合はムリせず自宅で療養する。
- 清潔なハンカチを持参する。
- 水筒を持参する。
- マスク着用するほかに予備マスクを 1 枚持参する。
- マスクを置いたり、持ち運んだりするための布又はビニール袋を持参する。**(記名しておく)**

## ＜登下校中＞

- 寄り道はしない。
- ＜公共交通機関を利用する際の車内では＞
  - 会話は控えめにする。
  - できるだけ空いている車両に乗る。

## ＜その他＞

- 持病があり、登校が心配な場合は、主治医と相談すること。
- 不安で涙が出る、食欲がわからない、イライラする、夜、眠れないような時は、  
家の人や先生に伝えること。

## ＜校内生活＞

- 登校後、昇降口で手指消毒を行い、サーモグラフィーを通過してから教室へ行く。
- こまめな手洗いと手指消毒を行う。
  - 校舎に入る時、トイレの後、食事の前後、**体育の授業後、教材を共用した後**、咳やくしゃみ、鼻をかんだ時、掃除の後
- 手洗いは 30 秒程度かけ、水と石鹼(液体または固形)で丁寧に洗う。
- 基本的には、常時**マスクを着用する。鼻から顎の下までしっかり覆う。
  - 体育の授業中、2m以上の身体的距離が確保できる場合、暑さで息苦しいと感じた時は外すことができる**
- こまめな換気をする。
  - 教室は常に出入り口と窓を開けてロスナイ換気扇をつけておく。
- 校内での人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けるようにする。
- できるだけ密集、密接、密閉の3密にならないようにする。
- 会話をする時は少人数で距離をあけて向かい合わないようにする。
- 昼食時は、会話を控えて向かい合わないように食事する。
- こまめに水分補給する。
- 水は水筒に汲んでから飲むようにする。水道に直接口を付けて水を飲まない。
  - 冷水器も同様とする。**
- できるだけ自分のごみは自宅へ持ち帰る。
  - 使用後のティッシュやマスクは、小さな袋に入れ、縛って捨てる。
- 洋式トイレはふたを閉めてから水を流す。(流れたことも確認)
- 体調不良時は、我慢せず速やかに保健室へ行く
- インターネットや SNS を使う時は、偏見や差別につながる行為を絶対にしない。

## ＜ごみの処理について＞

- ①教室のごみ箱は可燃物、不燃物のみとし、これ以外のごみ箱は感染防止対策期間中は撤去する。ペットボトル、缶は 1 階自販機前またはランチルーム前のごみ箱に捨てる。  
(口をつけたものの放置＝感染源となる可能性あり)
- ②特別教室のごみ箱は撤去する
- ③弁当等の家庭から持ち込んで発生したごみ(後期生)は、持ち帰りとする。
- ④ティッシュくず、マスクのごみが出た場合は、袋(各自ごみ袋持参)に入れてしぼり、可燃ごみ箱に捨てる。(ごみ袋は家庭からの持参を協力してもらうが、保健室からも教室へ配布する)
- ⑤感染防止対策期間は、感染の恐れのあるごみを入れたごみ袋は可燃ごみとする。
- ⑥ごみ捨ては毎日各クラスで行う。
- ⑦**購買で購入した弁当のごみは、昼休みのみ購買で捨てることができる。昼休み以降は持ち帰る。**

(参考:厚生労働省 新しい生活様式の実践例 2020.5.4

文部科学省 学校に新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～2020.6.16 Ver.2

東京都教育委員会 新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン【都立学校】

～学校の「新しい日常」の定着に向けて～改訂版 令和2年6月19日 )